

<白金標準、8200 円以下はロングポジションのエントリーチャンス・・・>



(出所：オアシス)

AI 関連株が大規模な設備投資に対する疑問が浮上し、日本市場の日経半導体や韓国株の大幅下落にナスダックや S&P500 の下落など、景気商品である白金価格も連動安の動きを見せている。また欧州では、ドイツの大手自動車会社の VW が 10 万人規模の人員削減やドイツ国内で 4 工場の閉鎖も検討するなど、自動車触媒需要に対する懸念も浮上している。

特に中東情勢では、米国とイランの停戦合意は破棄され、米国軍は 13 日連続でイランを空爆し、紅海ではイエメンのフーシ派がサウジアラビア船籍のタンカー 2 隻を攻撃するなど戦争の激化が続いており、WTI 原油先物価格の上昇に伴いインフレ懸念も高まるなど、金利は高止まりを見せている。しかし様々な悪材料を受けるも、NY 白金は 1600 ドル以下で下げ渋りを見せ、白金標準先物も 8200 円以下で下げ止まる値動きを見せている。

特に需給バランスが存在する白金市場は、3 年連続の供給不足が指摘されており、価値の見直しは継続する状況であり、2028 年には西側諸国の地上在庫は枯渇する予測を考慮しても、4 桁の時代は終わりを迎えると思える。そのため現在の 8200 円台は、年末に向けた買い場の提供に思え、ロングポジションのエントリーチャンスに思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が維持し、**シグナル**は上昇している。RCI では**短期**が切り下げても、**長期**は上昇している。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小しており、レンジ離脱の値動きが起こり易く強気維持の動きに思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,275,000 円(2026 年 7 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 97,680 円(2026 年 7 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>